

2022 年度 一般社団法人日本くすり教育研究所 事業報告

概要

青少年への医薬品教育、薬物乱用防止教育を中心に、飲酒・喫煙の害、アンチドーピング教育、さらには薬剤師を主とする医療従事者、教員への啓発活動など、会員の専門分野での活動の充実に取り組んだ。コロナ禍を考慮して ZOOM によるオンラインでの研修会開催も実施をした。また、保護者への情報発信・啓発活動にも取り組んだ。

1. 会員数の増加のための広報活動と正会員の活動への積極的参加を呼びかけた

2023/3/31 現在 メルマガ会員： 1,797 名(前年：1,608 名)

正会員： 94 名(前年：83 名)

賛助会員： 2 社（4 口）(前年：2 社)

(株式会社小学館集英社プロダクション、佐藤製薬株式会社)

企業からの寄付金：1 社（住友ファーマ株式会社）

2. 『おくすり教育推進協議会』を 3 回開催した

日本くすり教育研究所と東京都西武薬剤師会の共催により『おくすり教育推進協議会』を 3 回開催し、合計 142 名が参加した。

* 第 5 回おくすり教育推進協議会（参加者 68 名）

日程：2022 年 7 月 16 日

会場：ZOOM ミーティングによるオンライン開催

* 第 6 回おくすり教育推進協議会（参加者 27 名）

日程：2022 年 11 月 12 日

会場：小平市中央公民館

* 第 7 回おくすり教育推進協議会（参加者 47 名）

日程：2023 年 3 月 12 日

会場：ZOOM ミーティングによるオンライン開催

薬剤師がかかわる『医薬品の適正使用』および『薬物乱用防止』教育の推進と充実を図るための研修会を開催した。参加対象者を東京都西武薬剤師会（清瀬市、小平市、西東京市、東久留米市、東村山市の 5 市より構成）会員で“この活動に関心のある薬剤師”および同エリアの“学校薬剤師”と限定して呼びかけて行った。オンライン開催だけでなく、会場でも研修会を開催した。アンケート結果【資料 1】などを検討しながら、引き続き開催を継続することとした。

3. ホームページの充実を図った

- ・ホームページコンテンツ（ニュース・活動報告など）を順次更新した。
※アクセス数 PV（閲覧件数）：79,106、UU（訪問者数）：70,335
- ・会員に向けて毎月メールマガジンにより活動報告や情報提供を行った。

4. 医薬品教育などの健康教育を実施した

- ・学校における健康教育（医薬品教育、薬物乱用防止教育など）
- ・2022 年度に会員が指導した児童生徒の人数（ホームページで活動報告された人数）は 7,637 人（前年度：4,568 人）
- ・2022 年度に加藤代表理事が指導した児童生徒の人数は 5,388 人【資料 2】
- ・一般市民への健康教育・指導者研修等の活動
2022 年度に加藤代表理事が指導した回数は 9 回【資料 3】
- ・登録販売者研修のための教材作成（監修）
- ・『学校薬剤師が提案する保健だより素材サンプル集』の冊子版を配布した。
- ・くすり教育用動画 DVD「教えて！クスリン」を会員に配布した。

5. 令和 4 年度薬物乱用防止啓発訪問事業（厚生労働省委託業務）

令和 4 年度薬物乱用防止啓発訪問事業（厚生労働省委託業務）（(株) 小学館集英社プロダクションパブリックサービス事業部）について、ホームページでの活動内容や、資材の入手法、講師としての参画方法などを紹介した。

6. 他団体・企業からの依頼、相談対応

- ・ネットパイロティング株式会社の各種講座の監修
- ・東京新聞「暮らすめいと「ドクターQ&A 聞く薬」監修【資料 4】
- ・保健指導リソースガイド「トピックス・レポート」に「働く人に伝えたい！薬との付き合い方ー薬・サプリとセルフメディケーションー」を掲載【資料 5】

▼【資料１】おくすり教育推進協議会 アンケート結果

『第５回おくすり教育推進協議会』アンケート結果

*****アンケート*****

1. 小学校、中学校、高等学校などで授業（講演）を行ったことがありますか。

・（ ）ない ・（ ）ある

あるとお答えの方に、内容と場所を伺います。すべて○を付けてください。

内容 ・（ ）薬の正しい使い方 （ ）薬物乱用防止

場所 ・（ ）小学校 ・（ ）中学校 ・（ ）高等学校 ・（ ）その他（ ）

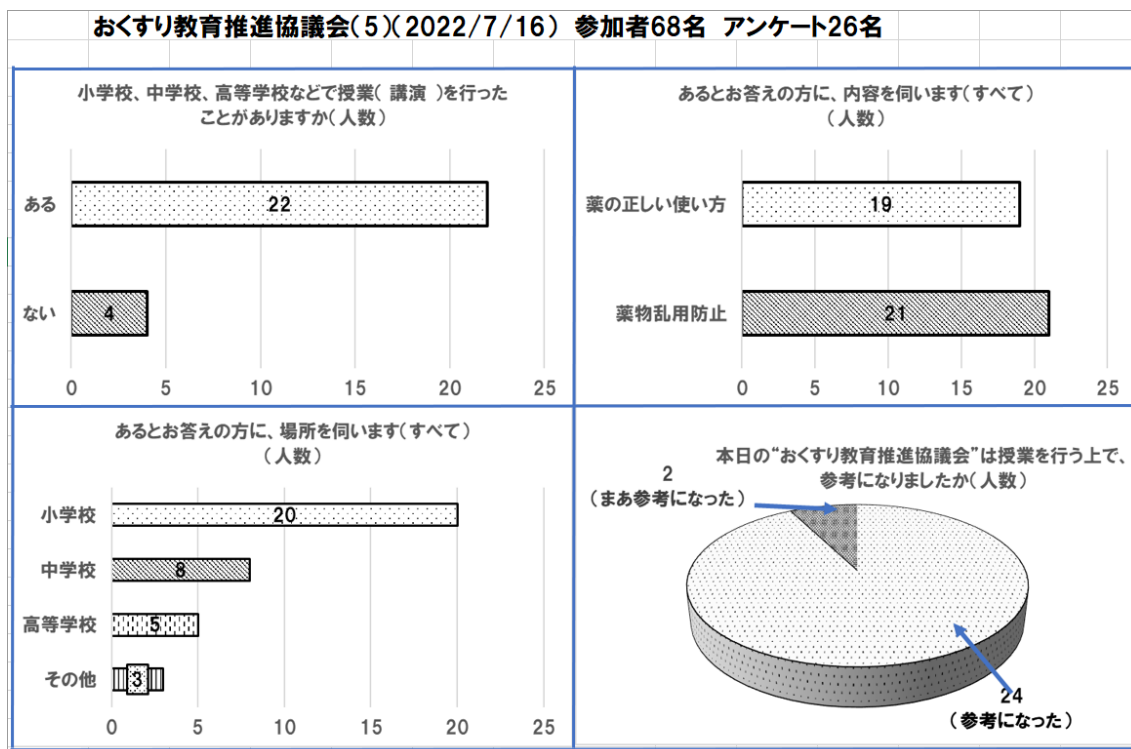
2. 本日の“おくすり教育推進協議会”は授業を行う上で、参考になりましたか。

・（ ）参考になった ・（ ）まあ参考になった ・（ ）参考にならなかった

3. 次回以降の“おくすり教育推進協議会”の内容・構成などについて、ご希望をお知らせください。

4. ご意見、ご感想などございましたらぜひお聞かせ下さい。

*****アンケート集計結果*****



”第 5 回くすり教育推進協議会”についての希望、意見、感想など

ー希望・意見などー

○形式

- ・リモート開催を希望する（多数）。
（参加しやすい。参加者が増えやすい。遠方の方のオブザーバー参加が可能。など）
- ・Zoom を基本に、時々リアルを入れていく。
- ・基調講演を行って頂いたのち、分科会形式で 3 時間程度の会、研修シールの発行も希望。

○内容

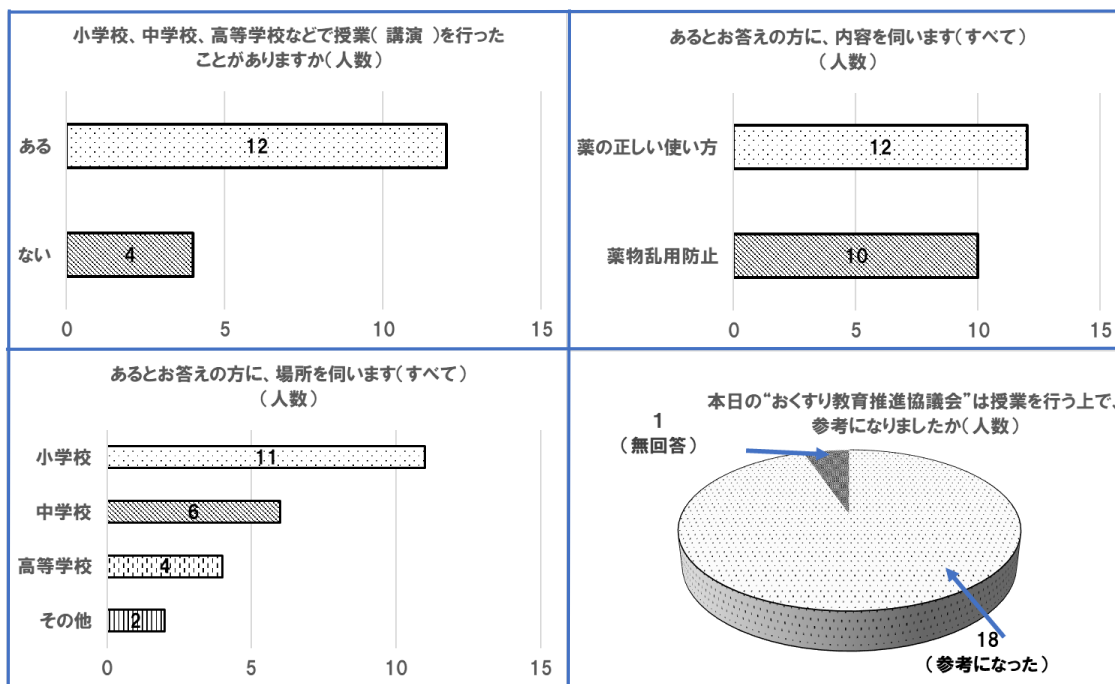
- ・活動例、経験談をもっと知りたい（多数）。
- ・現場での指導方法を具体的に教えてほしい。
- ・小学校で授業をした時、どの程度まで伝えたか、実例があれば、教えて欲しい。
- ・保健体育の授業で TT を行っていたら、その実践例も聞きたい。
- ・学校薬剤師の講演を通じて生徒の変容が見られた実践例が聞きたい。
- ・お薬授業等で質問されて回答に困ったことを聞きたいです。
- ・授業の時のちょっとしたエピソードやハプニングなどもうかがえると面白いです。
- ・「現場の困った」「現場の心配」「これって何？」など、意見を集めて今後の方向付けに役立ててはどうか。
- ・最近のトレンドを取り入れた薬物乱用防止教育の実際の授業をもっとみたい。
- ・小学校教育をトータルに考え一年ごとに積み重ねていくべきと感じた。そのような教育を行っている学校で、学校薬剤師として何らかの形でかかわっておられる方がおられましたら話を聞きたい。
- ・小学校授業で、治験の話に触れるにあたり、取り入れた時の実例を聞かせていただきたい。
- ・新しいトピックスが知りたい。
- ・これからも現場でのお話を伺えたらと思います。
- ・大麻合法化の引き継ぎ情報を教えて欲しい。
- ・日本、世界における薬物乱用に関する情報や動向など、最新情報のご講義をお願いしたい。
- ・社会の医療に対するシステムも順に話してもらおうと、ネット情報に惑わされないようになると思う。
- ・最新の話題と現場の授業のヒントになることをバランスよくとりいれてほしい。

ー感想などー

- ・初めての参加になりました。当然ですが通常業務内では知りえない情報が多く、非常に参考になりました。
- ・このところ環境衛生問題でいっぱいになっていましたが、久しぶりお薬教育のお話を伺い、しっかりやらなくてはとあらためて思いました。
- ・医薬品の単元も学校薬剤師の先生に入っていただけるように働きかけて行きたいです。
- ・くすりの正しい使い方～くすり教育の大切さを痛感しました。ですが、中学校で、薬物乱用防止教室が先で、薬の適正使用が後になってしまう・・・これは、積極的に養護教諭、保健体育の先生にくすり教育お手伝いします！をアプローチしなくては、と思いました。
- ・くすりの正しい使い方は、薬物乱用の導入に説明してます。今後、大麻合法化になるであろう、ということで、更にしっかりと伝えていかなければ、と感じました。
- ・薬物乱用などについては特にそうだと思いますが・・・正しい知識を学ぶことの大切さと興味がわき試してみたいくなるという相反する反応がありそうで、子どもたちに授業を行う際はかなり気を遣うところです。
- ・市販薬の乱用について色々うかがっていても、子供たちにどう伝えていくか、難しいです。結局、例年並みの授業になってしまいます。反省・・・
- ・薬物乱用は、検挙の場合だけでなく、治療対象での話も伝えていきたいと思いました。
- ・薬が存在する場所の他に多くあることをもう少し、世間に知っていただくと学校薬剤師の仕事もやりやすくなるかなと思います。
- ・エナジードリンクのお話は特に参考になりました。実際に小学校の養護の先生からも相談を受けたことがあります。
- ・一般用医薬品・エナジードリンク・サプリメントなどでさらに掘り下げられるとよいかと思えます。
- ・小学生でも手に届きやすい、エナジードリンクも取り入れたいです。やはり、時代の変遷により、色々と変わっていくことを実感しています。
- ・養護教諭の参加は、とてもありがたいです。多職種連携？大事だと思います。
- ・前回に続き学校薬剤師の先生と学校との連携の重要性や効果的な指導を教えていただき、指導に生かしたい内容ばかりでした。
- ・中学校では保健体育の授業は保健体育科の教員がメインで行うため養護教諭としてはなかなか入りづらいところもあるのですが、本校では性教育やがん教育などの外部講師を招いた授業は養護教諭に任せてもらえているところもあります。
- ・大麻の世界的な規制の変化と、今後の日本での規制について非常に考えさせられました。
- ・今後、この会をどのように広げ、クスリ教育を全国に広げていくための方法を検討する会も開催してはいかがでしょうか。
- ・講義いただく先生方のお話はとても貴重で、皆さんにもっとお知らせしたいと思います。
- ・三人の先生のお話はそれぞれ興味深く、大変有意義な時間を過ごさせていただきました。
- ・毎回、貴重なお話、大変勉強になります。ありがとうございました。
- ・今回も、貴重な最新情報等々、盛りたくさんで、大変勉強になりました。
- ・コロナ禍で活動が思うように出来ず歯がゆさを感じています。
- ・様々な準備、アンケートの集計、等々、ありがとうございました。

第6回おくすり教育推進協議会*****アンケート集計結果*****

おくすり教育推進協議会(6)(2022/11/12) 参加者27名 アンケート19名



おくすり教育推進協議会(6)のアンケート(記述)まとめ

ー本会への希望などー

○形式

- ・ ICT の活用。
- ・ 意見交換する時間が欲しい。
- ・ 久々のリアル研修会はやはり良いですね。
- ・ 実際に集まった方が熱意を感じることが出来ると思いますが、毎回は大変なのでリモートもありかな。

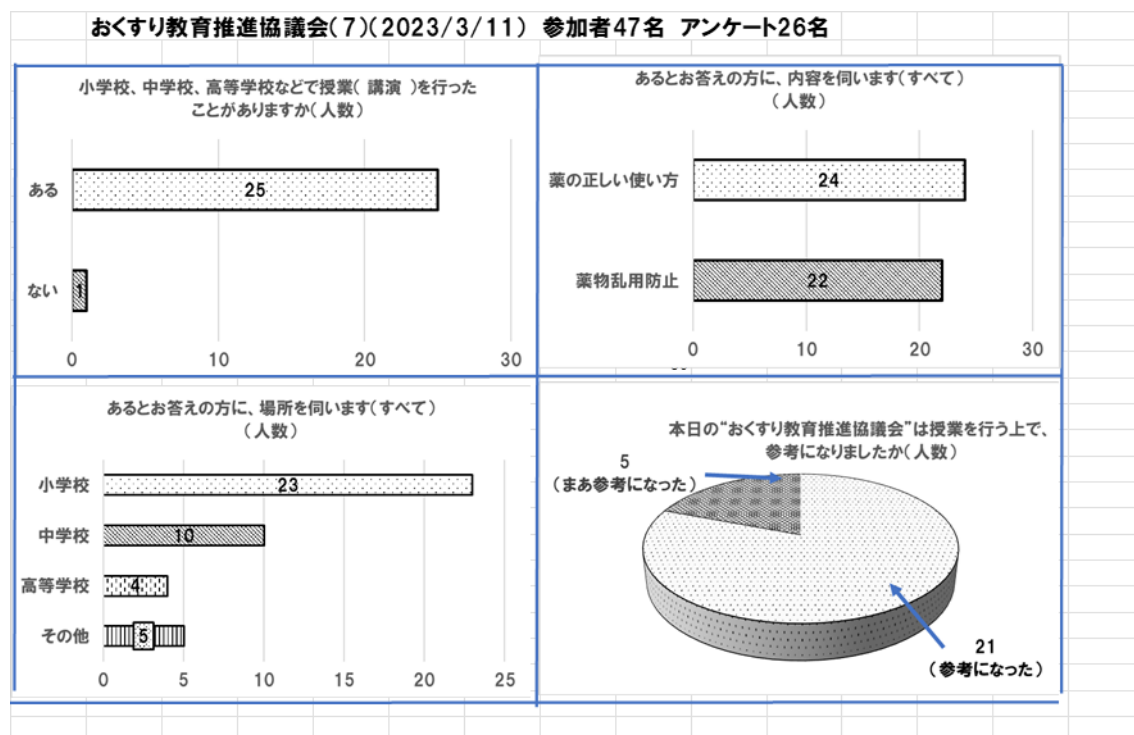
○内容

- ・ 大麻など詳しい話も聞きたい。
- ・ 他の先生方の経験談を聞きたい。(成功例、失敗例など) 4名
- ・ 他の方がどのような話をしているのか知りたいです。
- ・ 今回のプログラムは良かったと思います。
- ・ 毎年同じ話にならないようなトピックスやニュースを入れるというお話はとても参考になります。
- ・ 情報交換、意見交換により、個々の蓄積を増やすことも良いかと思います。

—感想など—

- ・学校の先生方の発表がほしい。
- ・今後授業をするにあたり、取り入れたいと思える事例がたくさんありました。ありがとうございました。
- ・大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・他市のやり方（東村山市）を聞くことが出来、すごく良かったです。
- ・学生さんが実験を覚えていると言ってくれたのは嬉しかったです。
- ・本日参加させていただきとても刺激を受けました。
- ・また継続して参加させていただきたいと思います。
- ・もう少し参加者が増えると良いです。皆様ありがとうございました。
- ・熱意をいただけて楽しかったです。これからも宜しくお願いします。
- ・皆さんのお話を聞いてまだまだ出来ることがあると自分の活力になりました。

第7回おくすり教育推進協議会*****アンケート集計結果*****



おくすり教育推進協議会(7)のアンケート(記述)まとめ

一本会への希望などー

○形式

- ・リモート開催を希望する(多数)。(ミュートの指導必要)
- ・Zoomを基本に、時々リアルを入れていく。
- ・Zoomでの研修で可だが、少人数での意見交換等の機会があっても良い。
- ・少人数での対面での協議会も年に1回くらいでもやってもらいたい。
- ・リモート開催で、ドラッグストア販売員や学校教員などもっと輪を広げてほしい。
- ・研修シールの発行も希望(複数)(学術的内容を含む場合は特に)。

○内容

- ・充実していてありがたい(多数)。
- ・大麻情報も、ドーピング対応も、とても勉強になった。
- ・法改正直前など最新の情報が得られてうれしい。
- ・大麻規制は、問題の奥が深いことが理解できた。
- ・身近な医療用薬品の乱用例についてもきちんと知っておきたい。

- ・他の薬剤師が実際どのように教室を行っているか見たい。
- ・現場での指導方法を具体的に教えてほしい。
- ・最近の薬物の誘われ方(日々誘い文句が変わっていると思うので)を知りたい。
- ・最近の新しい情報についてどのように授業に取り入れているか 具体的な取り組み、パワポの例を示してほしい。
- ・子供達が所属しているスポーツクラブや組織の関係者や指導者に、どの様にドーピングの情報提供や教育がなされているかにも興味をもった。
- ・未成年の喫煙予防対策についてお聞きしたい。

—感想など—

- ・乱用薬物の情報は刻々と変わり、特に大麻については、リアルタイムの情報を知っておかなくてはならないと思うが、情報の渦にいる子供たちにどのように伝えたらよいのか、前よりいっそう難しくも感じている。
- ・若者向けの雑誌でも「CBD」のリラックス効果についての記事が載っている。法整備がなされるまでは、学校薬剤師の考え方をはっきりさせる必要があると感じた。
- ・若年層の有害性の認識が低い事を知り、乱用防止教室でも啓発しなければと思った。
- ・大麻について今後の規制法の変革についても引き継ぎご指導をお願いします。
- ・大麻の世界的な規制の変化と、今後の日本での規制について非常に考えさせられた。
- ・子供達が所属しているスポーツクラブや組織の関係者や指導者に、どの様にドーピングの情報提供や教育がなされているかにも興味を持った。
- ・スポーツファーマシストとして薬剤師が参画しやすい環境が大切だと思う。
- ・スポーツファーマシストの資格も目指し勉強したい。
- ・今回も、貴重な最新情報等々、盛りたくさんで、大変勉強になりました。
- ・学校薬剤師の給料を上げるための戦略を立ててほしい！

【資料２】小・中・高等学校における医薬品教育など青少年の健康教育に関する活動報告

実施日	分類	内容分類	場所	学校名・団体名	対象	人数
20220406	*授業⇒	薬物高大	東京都	東京薬科大学生命	1年生	220
20220520	*授業⇒	薬物小中	東京都	小平市立小平第四中学校	全校	590
20220524	*授業⇒	薬物指導	東京都	学習院大学	1年生	130
20220611	*授業⇒	薬物小中	東京都	千代田区立和泉小学校	6年生	54
20220618	*授業⇒	薬物小中	東京都	日野市立平山小学校	6年生	90
20220701	*授業⇒	くすり小中	東京都	小平市立小平第五小学校	4年生	120
20220708	*授業⇒	薬物高大	東京都	学習院高等科	2年生	200
20220709	*授業⇒	薬物小中	東京都	豊島区立巣鴨北中学校	2年生	150
20220714	*授業⇒	薬物高大	千葉県	千葉県立船橋古和釜高校	全校	600
20220715	*授業⇒	薬物小中	東京都	小平市立小平第五小学校	6年生	118
20220715	*授業⇒	薬物小中	東京都	豊島区立明豊中学校	1年生	148
20220720	*授業⇒	薬物小中	東京都	板橋区立中台中学校	1~3	510
20220906	*授業⇒	薬物小中	東京都	小平市立小平第五小学校	5年生	114
20220915	*授業⇒	くすり小中	東京都	日野市立東光寺小学校	5年生	73
20221004	*授業⇒	薬物小中	東京都	練馬区立関町北小学校	6年生	106
20221110	*授業⇒	薬物小中	岐阜県	古川小学校	2年生	145
20221114	*授業⇒	薬物小中	東京都	世田谷区立池ノ上小学校	6年生	45
20221118	*授業⇒	薬物小中	東京都	豊島区立清和小学校	6年生	68
20221122	*授業⇒	薬物小中	東京都	新島村立新島中学校	全校	37
20221203	*授業⇒	薬物小中	東京都	豊島区立長崎小学校	6年生	38
20221208	*授業⇒	薬物小中	東京都	小平市立小平第三小学校	6年生	106
20221210	*授業⇒	薬物小中	東京都	豊島区立高松小学校	6年生	85
20221214	*授業⇒	薬物小中	東京都	小平市立小平第七小学校	6年生	110
20230121	*授業⇒	くすり小中	東京都	豊島区立朝日小学校	6年生	39
20230121	*授業⇒	薬物小中	東京都	豊島区立朝日小学校	6年生	39
20230124	*授業⇒	薬物小中	東京都	小平市立小平十二小学校	6年生	90
20230127	*授業⇒	薬物小中	東京都	豊島区立富士見台小学校	6年生	54
20230128	*授業⇒	薬物小中	東京都	豊島区立池袋小学校	6年生	43
20230206	*授業⇒	くすり小中	東京都	世田谷区立東玉川小学校	5年生	31
20230206	*授業⇒	薬物小中	東京都	世田谷区立東玉川小学校	6年生	35
20230208	*授業⇒	薬物小中	東京都	町田市立町田第三小学校	6年生	74
20230213	*授業⇒	薬物小中	東京都	町田市立鶴川第三小学校	6年生	71
20230216	*授業⇒	薬物小中	東京都	豊島区立朋有小学校	6年生	79
20230217	*授業⇒	薬物小中	東京都	町田市立木曽中学校	1年生	105
20230220	*授業⇒	薬物小中	東京都	豊島区立千早小学校	6年生	61
20230222	*授業⇒	薬物小中	東京都	豊島区立池袋第一小学校	6年生	37
20230224	*授業⇒	薬物小中	東京都	千代田区立麴町小学校	6年生	91
20230302	*授業⇒	薬物小中	東京都	豊島区立西池袋中学校	1,2年	230
20230304	*授業⇒	薬物小中	東京都	豊島区立千川中学校	全校生徒	222
20230308	*授業⇒	薬物小中	東京都	町田市立山崎中学校	3年生	128
20230314	*授業⇒	薬物小中	東京都	江戸川区立小松川第三中学校	3年生	102
				全 41 校		5388

【資料３】指導者研修等の活動報告

実施日	分類	内容分類	場所	団体名	対象
20220605	* 講演 →	薬物指導	千葉県	千葉県学校薬剤師会	薬剤師
20220716	* 講演 →	くすり指導	東京都	第5回おくすり教育推進協議会	薬剤師
20220830	* 講演 →	くすり指導	東京都	町田市立鶴川第三小学校保健会	保護者・教員
20220901	* 講演 →	薬物指導	東京都	豊島区学校薬剤師会	薬剤師
20220920	* 講演 →	薬物指導	群馬県	ライオンズクラブ	指導員
20221025	* 講演 →	薬物指導	島根県	島根県薬剤師会	薬剤師
20221110	* 講演 →	薬物指導	岐阜県	教育委員会	指導員・教員
20221120	* 講演 →	くすり指導	東京都	第6回おくすり教育推進協議会	薬剤師
20221118	* 講演 →	薬物指導	大分県	大分市薬剤師会	薬剤師
				計 9 回	

【資料４】東京新聞「暮らすめいと「ドクターQ&A 聞く薬」監修

暮らしのヒント

多くの市販薬は
長期連用想定せず

市販の頭痛薬を飲み続けています。病院で薬を処方してもらった方がいいですか？

市販薬の多くは、長期に使い続けることを想定していません。外箱や添付文書に、長期連用の禁止が記載されています。その他に使用上の注意や副作用の症状に関する説明もありますので、必ず目を通してください。

長期連用を禁止しているのは、状態の悪化や副作用などを招くおそれがあるためです。長引く頭痛の影には大きな病気が隠れている可能性もありますから、必ず病院を受診しましょう。

(監修：日本くすり教育研究所代表理事・加藤哲太さん)

本紙が月1回発行する「暮らすめいと」から記事をセレクトして掲載します。

【資料5】保健指導リソースガイド「トピックス・レポート」に「働く人に伝えたい！薬との付き合い方ー薬・サブリとセルフメディケーションー」を掲載

トピックス・レポート

働く人に伝えたい！薬との付き合い方

ー薬・サブリとセルフメディケーションー

①錠剤を割る／カプセルを開ける／噛むのは【危険】

一般社団法人 日本くすり教育研究所

代表理事 加藤 哲太

ツイート

2022年11月02日

働く人に伝えたい！薬との付き合い方

本連載では「大人」でも意外と知らない「薬」の知識やセルフメディケーションの基本を、加藤哲太先生（日本くすり教育研究所 代表理事）にご解説いただきます。

保健指導や健康だよりで取り上げたい「薬」の話題を隔月ペースで紹介しますので、ぜひ自身の学習、業務での情報発信にご活用ください。

これまでの「働く人に伝えたい！薬との付き合い方」



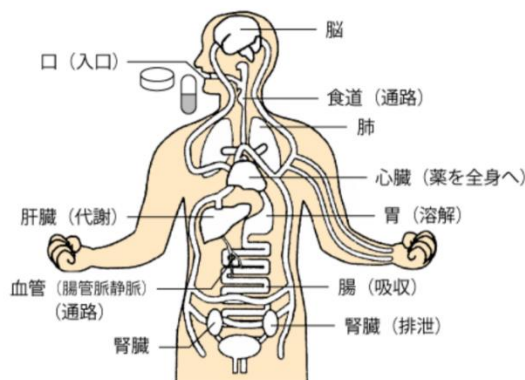
No.1

働く人に伝えたい！
薬との付き合い方

薬・サブリとセルフメディケーション

はじめに：薬（経口投与）の「正しい飲み方」「効果的な飲み方」は？

薬の効果（薬効）を最大に発揮させるためには、「体内での薬の流れ（動態）」を理解し、『必要な時に、必要な量を、必要な部位に到達させる』ことが大切です。



薬を飲む：口（入口）⇒胃を通過（多くはここで溶解）⇒腸で吸収⇒血管（腸管脈静脈）を通過⇒肝臓で代謝⇒血液⇒身体の臓器（患部）で効果を発揮⇒再び肝臓で代謝⇒腎臓で処理⇒体外へ

薬の効果を発揮させたいタイミングで、薬が「正しく溶けたか？」「十分に吸収されたか？」「患部に届いて効いて効果を発揮したか？」「分解し消失したか？」をイメージしましょう。

1 2 3 次へ > H